



町民文芸

短歌

帰省客みな帰り去りほつとするも
寝具手入れの置き土産あり
北野津 宮本 末秋

火の君の汲みし氷川の水の音
千年経る日も秋風の立つ
北野津 井田 道寛

入所者と共に歌った夏まつり
戦中戦後の歌は朗らかに
西野津 古崎スエノ

仲秋の残暑長し日中の
木陰に止めるセールスマン
西野津 古崎 栄子

雑草の間から伸びた彼岸花
開花静かに秋を待ちたり
南鹿野 尾崎 京子

人間の無力自然の恐ろしさ
今更に知る二十一号
吉本 橋村 正之

夏ゆきて児らの歓声消えし浜
小舟は遠く不知火の海
吉本 高瀬 道昭

地震後に改装なれる美しき
墓前に菊の花など供ふ
吉本 高橋 澄子

くれなずむ海を愛しみ岩礁に佇つ
錦おりなす秋の夕暮れ
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

俳句

毎月の短歌俳句の楽しみは
読んでいるよの町民の声
西上宮 村内 一誠

戦争で壊れし国を支え来た
悔いなき顔の笑うリハ室
上鹿島 前村 俊子

雨降らず目立つ抜け穴秋の入り
北野津 宮本 末秋

熊本城復興ねぶた人の波
西野津 古崎スエノ

空蟬のさみしく落つる庭の隅
南鹿野 尾崎 京子

拝殿に近づくほどに木の実降る
町 香山菊童子

長き夜の一睡したる句を詠む
西野津 古崎 栄子

秋の雲宇土半島の寝釈迦かな
北野津 井田 道寛

廃屋の屋根に枝垂る、百日紅
吉本 高橋 澄子

台風去りて残せしものは闇無限
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

しみじみと庭に佇む今朝の秋
桜ヶ丘 吉田 照子

栗御飯食めば遠嶺の母の影
桜ヶ丘 宮崎トシ子

窓越しに見える残月何想ふ
町 田中 澄子

詩

暑き日を吹き飛ばしたる秋の風
西上宮 村内 一誠

吹く風に虫の音加え語り来る
上鹿島 前村 俊子

氷川音頭
西上宮 村内 一誠

ハア 桜吹雪が 天まで舞って
ヨイヨイ

氷川町中が 氷川町中が
朱に染まる

サテ ここは火の國 あかあかと
熱き火の君 おわします

ハア 西に不知火 東に古墳
ヨイヨイ

波も荒けりや 波も荒けりや
霧も立つ

サテ ここは九州 ど真ん中
むぞかお女も おわします

ハア 永遠に変わらぬ
氷川の流れ ヨイヨイ

町の畑を 町の畑を 真っ黒に
サテ 染めて梨やら 苺やら
実り豊かに おわします

※メロディは「東京音頭」で唄う

川端康成 をちよびつづひむく

旅は十日あまりの伊豆の温泉場をめぐり途中に出会った踊子の一行や波浮の港で一行、踊子との別れの間に触れ合う人間模様、今という格差社会、方や優雅な一高生の旅いでたち、旅で織り成すふれあいには茶屋や旅館で出会う伊豆地方の貧しき人々に対し、若い学生を高貴には描いてはいないが、冒頭の二説のうちに康成の卓越した美文が始まるが、登場する人々は貧しき人物として描かれている。踊子との利那は川端の旅情をさそい、その青春の哀歌をこめて抒情に濡れ凝縮したのが「伊豆の踊子」であった。さて、編集中に大きな発見があった。これが「踊子」を「薫」と呼ばなかったことと繋がるように思えた。

川端の作品は膨大な量である。

小説・自伝作品 236 作品、評論・随筆作品 56 作品 その他、作文・習作 脚本・翻訳等

それは、「伊豆の踊子」の原点となった女性に宛てた恋文が発見され、『文藝春秋』2014. 8月号に掲載されていた。『僕が十月の二十七日に出した手紙見てくれましたか、君からの返事がないので毎日毎日心配で心配で、じっとして居られない、手紙が君の手に渡らなかつたのか……

以下割愛。

(続く)

子どもたちの安全を地域の目で守りましょう ～防災行政無線による子どもの見守り放送について～

氷川町ではこれまで、夏休みなどの長期休み中の夕方の時間帯に防災行政無線で地域の皆さまに向けて子どもの見守り活動の呼びかけを行ってまいりました。

これからはさらなる安全確保対策として、子どもが事故や犯罪の被害に巻き込まれる危険性の高い下校時間帯にも呼びかけを行います。

子どもたちの登下校時間帯にあわせて通学路のお散歩に出かけたり、自宅前の掃除やお花に水をあげるために屋外に出ていただくなど、日常生活の中で気軽に行えるもので、地域の皆さまの見守りをお願いします。

また、防犯ブザーの音に気づいたら、子どもたちの様子を確認してください。地域の目が光っていることを示すことで、不審者に対する抑止効果も期待できます。

放送の音などでご迷惑をおかけしますが、趣旨をご理解いただき、引き続き地域の皆さまのご協力をお願いします。

放送日：毎週水曜日（夏休みなどの長期休みを除く）

放送時間：15時



【お問い合わせ先】学校教育課 ☎62-3313

「道の駅」竜北ウォーキング2018を開催します！

スタートとゴールは竜北公園で、町内外の多くの人に楽しんでいただけるよう「野津古墳群経由ふるさと自然のみち」10.5kmと「宇城氷川スマートIC経由ふるさと自然のみち」5.0kmの2コースを用意しています。

多くの皆さまのお越しをお待ちしております。

- ◆日時 10月21日(日)10時開会
- ◆場所 竜北公園スタート・ゴール
- ◆参加費 大人1,000円
高校生以下500円
- ◆応募方法 申込用紙または
電話による事前申し込み
- ◆申込期限 10月9日(火)

〈お問い合わせ〉
商工観光課 ☎62-2315

